

伊賀市議会 だより

2011. 11. 1
No.27



伊賀上野城に 戦国武将見参!!



藤堂高虎 伊賀上野城築城 400 年祭は、11 月末まで開催。

主な掲載内容

平成 22 年度決算	2～3
委員会審査、本会議審議結果	4～9
13 議員が一般質問	10～14
議会改革推進委員会報告・政策討論会	15
議会報告会・次回の議会日程	16

税金のゆくえ

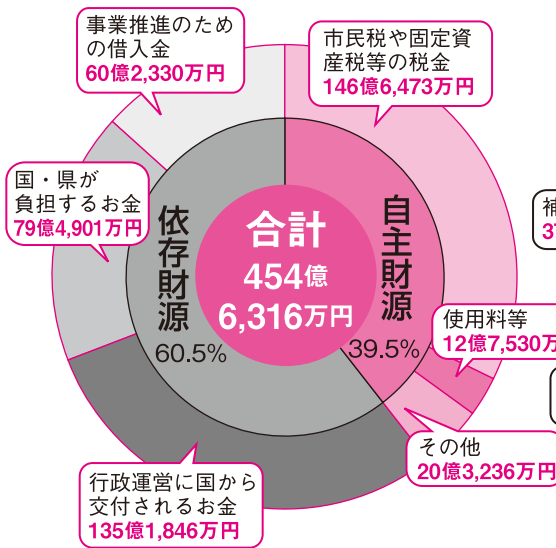
平成23年9月定例会は、9月5日から28日までの24日間の会期で開かれました。

決算は議長、監査委員を除く全議員で構成する決算常任委員会に付託され、2日間にわたって審査されました。

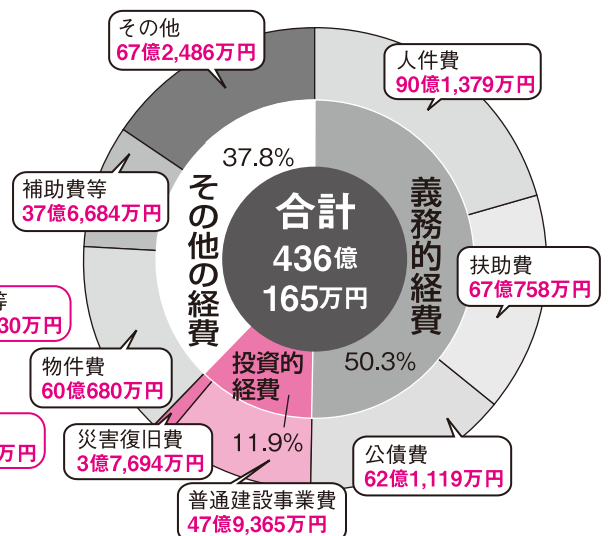
みちを審査・認定



一般会計歳入決算の内訳



一般会計歳出決算の内訳



用語解説

・自主財源

市税、使用料、手数料、財産収入など市が自主的に調達できる財源。

・依存財源

国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする収入。

・義務的経費

その支出が義務付けられていて、任意に削減することが難しい経費のことをいいます。

・投資的経費

道路、橋梁、学校、公園等各種社会資本整備に要するものであり、支出の効果が長期にわたる経費です。

基金（預金）

一般会計	残高 115 億 2,976 万円
特別会計	残高 30 億 5,306 万円
財産区	残高 1 億 3,819 万円
合計	残高 147 億 2,101 万円

市債（借金）

一般会計	残高 573 億 518 万円
特別会計	残高 181 億 1,410 万円
企業会計	残高 225 億 7,714 万円
合計	残高 979 億 9,642 万円

主な歳入 財源

() 内は対前年度比

●市税

市民税や固定資産税等の税金
146 億 6,473 万円
 (+2 億 6,572 万円)

●地方交付税

行政運営に国から交付されるお金
110 億 8,212 万円
 (+11 億 7,066 万円)

●国・県支出金

国県が負担するお金
79 億 4,901 万円
 (-5 億 6,023 万円)

●市債（市の借金）

主に建設事業に充てるために借り入れる借金
60 億 2,330 万円
 (+17 億 1,470 万円)

●その他

事業に対する地元負担金や施設の使用料など
12 億 7,530 万円
 (-4,328 万円)

●繰入金

基金（市の貯金）の取り崩しや他会計から繰り入れるお金
1 億 3,675 万円
 (-6 億 7,211 万円)

平成22年度決算 気になる私たちの 市民の税金の使い

平成22年度一般会計

歳入(財源)	454億6,316万円	翌年度繰越財源	1億5,818万円
歳出(使いみち)	436億 165万円	実質収支	17億 333万円

主な歳出 使いみち ()内は対前年度比

● 民生費 <ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンター運営事業 525万円 みどり保育園・かしのみ園改築事業 5億3,264万円 子ども手当事業 15億1,069万円 133億809万円 (+18億2,022万円)	● 総務費 <ul style="list-style-type: none"> 庁舎建設積立金 15億円 沖森文庫目録編さん事業 319万円 バス等対策事業費 1億4,988万円 82億8,823万円 (+6,920万円)	● 公債費 <ul style="list-style-type: none"> 市債元金償還金 53億1,229万円 市債利子 8億9,890万円 62億1,119万円 (-3億2,666万円)	● 衛生費 <ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 2,904万円 救急相談ダイヤル24委託料 622万円 さくらリサイクルセンター資源ごみ処理及び施設維持管理費 1億281万円 44億8,573万円 (-3億8,156万円)
● 教育費 <ul style="list-style-type: none"> 上野南中学校建設事業 3億327万円 緑ヶ丘中学校屋内運動場改築事業 7,739万円 ゆめが丘多目的広場整備工事 4,853万円 34億2,092万円 (-6億9,143万円)	● 土木費 <ul style="list-style-type: none"> 伊賀神戸駅前周辺整備事業 690万円 市街地整備推進事業 2億196万円 都市公園遊具改修工事 3,208万円 個人住宅耐震診断支援事業 135万円 31億7,575万円 (-5億9,310万円)	● 農林業費 <ul style="list-style-type: none"> 鳥獣害防止事業費 1億2,047万円 菜の花プロジェクト推進事業 1,187万円 市単土地改良事業 1,926万円 17億4,888万円 (+1億1,914万円)	● 消防費 <ul style="list-style-type: none"> 救急自動車、小型ポンプ自動車等購入 5,329万円 15億1,241万円 (-2億2,392万円)
● 商工費 <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地等商店街活性化事業 553万円 ゆめテクノ伊賀管理運営補助など 2,173万円 観光振興経費 6,154万円 4億5,964万円 (-1億6,324万円)	● 災害復旧費 <ul style="list-style-type: none"> 台風などによる災害の農地及び農業用施設の復旧工事費 7,628万円 道路・河川災害復旧工事費 2億8,825万円 3億7,625万円 (+1億9,214万円)	● 労働費 <ul style="list-style-type: none"> ワークプラザ整備事業 2,101万円 緊急雇用創出事業 (242人) 1億7075万円 3億2,266万円 (+1億818万円)	● 議会費 <ul style="list-style-type: none"> 議会運営費 議会広報発行 会議録印刷製本など 1,863万円 政務調査費 542万円 2億9,190万円 (+719万円)

決算審査での主な意見等

総務費

- 沖森文庫目録編さん事業で作成した本「十七文字の贈り物」に多くの誤りがあった。正誤表等、早急に対応し、今後はしっかりとチェックすること。
- 上野ふれあいプラザの維持管理は、施設台帳を整理し、他の施設と比較検討すること。
- 人権啓発推進事業の成果を検証すること。
- 各種計画策定に当っては、行財政改革の観点と市民参画の面から策定方法を見直すこと。
- 借地になっている地区市民センターの土地建物は、買い上げも検討すること。
- バス等の交通体系全体について再検証を行うこと。
- ふるさと応援寄附金を

された方々に、丁寧な対応をすること。

- 青山地区のケーブルテレビの行政プランの料金設定を、分かりやすく周知すること。
- 各地域で実施されている夏まつりに対する補助金、助成金の再検討を行うこと。

民生費

- 社会福祉協議会に委託している事業の評価・検証をしっかりと行い、場合によっては事業形態の見直しを含めた検討を行うこと。

農林業費

- 生産調整推進対策事業は、他の地域でも農業生産法人が立ち上がり、不公平感のないよう同様の支援を検討す

ること。

商工費

- 施設の指定管理者の選定は、指定先の状況を把握し、適切な業者選定に心がけること。

教育費

- 小中学校の一般開放に伴う必要経費は、使用する方々の声を聞くこと。
- 上野南中学校建設事業後の小学校区再編は地区の合意と参画により進めること。
- 伊賀米米飯給食は、伊賀米の推奨と地産地消の観点からも継続すること。
- 同和対策関連事業は、地方交付税等の中に同和対策関係の措置分が含まれているという認識に立つこと。

審議結果

賛成22人 反対5人

討論反対

- 1点目は総事業費17億円を投入する「しらさぎ運動公園整備事業」には反対である。土地購入の経緯も不透明であり、市民に対して、政策の発生源から将来にわたるコスト計算まで広く説明すべきである。
- 2点目は「総合計画策定に関わる経費」に約530万円を投入しているが、今年3月議会で修正決議された「伊賀市総合計画後期基本計画」は、いまだに市民にも議会にも示されていない。総合計画に基づかない行政運営をするべきではない。(稲森)

- 庁舎建設基金積立など庁舎建設関連が含まれている。市民の意見が分かっている中で、庁舎を「現在

の場所に全面新築すること」ありきで進める姿勢は問題。同和事業に関する支出の見直しが行われていない。放課後対策としての児童館事業や保育料減免は、地域を特定せず、全市民対象に行うべきである。市税滞納者に対し、差し押さえ優先の滞納整理が行われている。滞納者には納税相談をきちんとして行うことが自治体の責任である。住民の福祉を図る自治体の本旨に基づいた税金の使い方をするよう求めて反対する。(百上)

- しらさぎ運動公園設計業務委託料の土地分筆のための190万円は、むだな経費を伴う要素があり納得いかない。また、予算計上の前に周辺の民間事業者との細かい協議をしていない。しらさぎ運動公園周辺のゾーン計画についても、必要な資料を揃えて広域的な説明をするべき。(前田)

監査委員の審査意見

監査委員

塚脇 直樹
渡久山カネエ

(要旨)

各会計の決算書等関係書類は正確で、予算の執行状況も適正に処理されている。

景気低迷の中、前年度を上回る市税収入額を確保したことや、財政制度をフルに活用し財政調整基金などの積立金の取り崩しを抑制し将来に備えたことがうかがえ、堅実な財政運営に努めている。

しかし、一般会計の決算額は依然として400億を超え、類似団体と比較すると高い水準にあり、一層の効率・効果的な行財政運営に努力するよう望む。

なお、市税などの収入未済額(滞納額)は一部改善されたが、依然、多額の未収額となっており、公正公平の観点から徹底した督促、徴収に努め、法令等に基づき厳格な管理執行を求める。



駅前再開発ビル『産廃』処理議案を **否決**

異論続出

「なぜ1億500万円?!」
「産廃の判断根拠は!？」 「2ヵ月後の報告は
議会軽視だ!!」

工事請負契約の変更

上野市駅前再開発

ビル建築工事で地下掘削中の今年3月、廃棄物まじりの土が見つかり、「産業廃棄物」として処理する必要が生じたことから、1億515万8550円を増額する工事請負契約変更の仮契約を締結したので、議会で議決を求められたものです。

この工事請負契約は、平成22年9月10日に28億1400万円で「フジタ・中里特定建設工事共同企業体」と契約を締結し、今年1月19日に28億6620万円7050円で第1回工事変更契約を締結しています。

なお、この議案は、6月定例会で上程され、継続審査となっていました。

産業建設常任委員会 継続審査

(7月25日)

◆市の説明

今回発現した廃棄物は、混合廃棄物(管理型)である。現場内で土と産業廃棄物に分け、処理する方法では、場所の確保が不可能なため、産業廃棄物混じり土すべてを産業廃棄物として処理する方法を採用した。
・積算単価の採用については、三重県には共通単価はなく、さらに建設物価版にも関西地区の記載はないため、市内、県内、県外の業者より単価見積りをとり安価なものを採用した。

◆質疑

Q 資料について、見積りの会社名等が消されている理由は。
A 設計単価として採用した見積りはそのままだ。採用しなかった見積りについては、情報公開担当部局にも確認し、会社名は消した。

Q 発現から処理に至る

経緯等については。

A 3月4日に廃棄物の発現を確認した。この時点では、廃棄物の数量は不明であったが、発現した廃棄物は土砂混じり混合廃棄物という産業廃棄物に該当するものであると判断し、3月8日に単価見積りをとった。3月10日には施工業者より市に報告書が提出されたが、この時点でもまだ数量は把握できなかった。

◆討論

議会への報告が遅れたことに対し、認識を改め、誠意ある議会対応を求めると決すべきものとした。

◆審査結果

賛成多数 原案どおり可決すべきものとした。

本会議での質疑

Q 最終処分処理方法は、木屑等が含まれているため、管理型にするというのだが、金額的には安定型のほうが安価である。すべて管理型にし

た根拠は。

A 国の「産業廃棄物処理指針」により今回の廃棄物は管理型とした。(市)

Q 採掘された土壌は文化財が産業廃棄物かという質疑はあったか。また産業廃棄物と示された根拠はあったか。

A 6月定例会の委員会の中でやりとりがあった。教育委員会文化財係がしっかりと調査した結果である。(委員長)

討論 反対

●多額の税金を使った契約であり、管理型より安いものが検討されていないけれども、委員会では審議が足りなかったと考えられる。(中谷)

●今年3月に「がれき」が発見されていたにもかかわらず、議会で初めて報告されたのは2ヶ月以上経過した後であり、「がれき」の撤去後だった。これらの行政の姿勢は、議会軽視だと考える。(稲森)

(稲森)

●掘削土壌を産業廃棄物とした根拠が非常にあいまいである。また建設敷地部分を開発工事前の条件である本発掘していれば、変更契約をしなくて済んだ。また当局は出土品を公的な機関に調査を依頼せず、文化財ではなく産業廃棄物だと根拠もなしに判断した。(桃井)

●1億500万円というのは大変重い血税である。なぜこの金額になるのか根拠がわからないままで、議員として市民に説明責任を果たせない。また最初から議会に報告されていけばもっと検討議論できたはずで、行政の不手際も含めて反対である。(百上)

(百上)

●伊賀市には文化財保護審議会があり、こうした公的な機関で文化財を審査するというものになっている。これを無視したやり方に不信感を持ち反対する。(前田)

(前田)

平成23年度一般会計補正予算

賛成 23人
反対 4人

今回の補正は、国・県の補助事業の追加・変更や、病院事業会計への繰出金及び貸付金と、7月の台風6号による被害箇所修復のための工事などに必要な額を補正するものです。

可決

補正額 25億9036万円
補正後の総額 455億1470万円

【主な使いみち】

- ・しらさぎ運動公園整備事業 1億8790万円
- ・岡田大沢線道路改良事業 7420万円
- ・(仮称) 上野南地区中学校建設事業、周辺道路改良工事費 1億3260万円
- ・台風6号による被害箇所施設復旧事業費 3億3330万円
- ・(仮称) 上野西部地区小学校大規模改造事業調査業務委託料、小学校校舎の耐震補強 2760万円
- ・桐ヶ丘地区ほか11地区へ交付「地域支え合い体制づくり事業補助金」 1592万円
- ・病院事業会計 繰出金 5億5000万円
貸付金 3億円 など
- ・繰越金 約12億3000万円
- ・普通交付税 約6億2600万円 など

【主な歳出の財源】

質疑

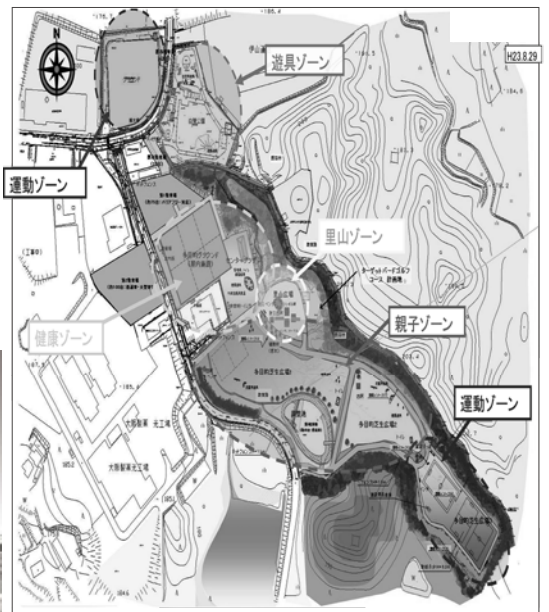
Q 病院会計への貸付金、繰出金が計上されているが、病院の再生計画がはっきりしていないと、市民も不安になる。病院としてどう考えているか。

A 病院内に再生委員会を立ち上げ取り組んでいる。現在業者の支援を受けながら経営改善に取り組んでおり、再生のビジョンも新たに構築していく。



Q しらさぎ運動公園には、公園やゲートボール場等の整備をするが、場所的に遠い。車で行けない人たちの対策は考えているか。

A 当初の設計から変更する可能性が出てきたため、金額が上がる部分で、災害適用になるかどうか関係部署と協議する。



しらさぎ運動公園計画図

A 三重交通の路線バスが産業会館から運行されている。付近に停留場もあり、土日7往復、平日9往復と利便性は高い。

Q 阿山第2運動公園のり面の崩落は、今回の補正で修復となった矢先、台風12号によりり面がさらに大きく崩落した。災害復旧での対応になるのか。

A 当初の設計から変更する可能性が出てきたため、金額が上がる部分で、災害適用になるかどうか関係部署と協議する。



Q 放課後児童クラブ「ふたば」が定員70人の大規模になることへの配慮は。また、保護者と指導員との信頼関係を継続させることを、どのように考えているか。

A 定員が増えることで活動ルームを2部屋に変更した。指導員は引き続き雇用できるように、委託先にお願いく。

討論 反対

●しらさぎ運動公園整備事業は、今までの経過の中で民間用地3・2ヘクタールを約3億9000万円取得したときに、多額の市税を滞納している地権者と土地取得契約を結んだことなど不明確な点が今に至るも説明ができていないことや、住民の民意を反映していない事業だから反対。また、人権同和教育推進事業142万6千円、同和問題啓発事業263万9000円の補正が組まれているが、市は「伊賀市同和施策推進計画」が24年度で見直しの年にあたるとして同和地区の生活実態調査を計画しているが、推進のための調査は必要ない。また新たな事業はやめるべき。(森永)

●しらさぎ運動公園整備事業費を含んだ予算なので反対する。

(稲森・前田)

請願

●総務常任委員会で審査し、本会議で不採択となりました。

不採択

国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善を求めることについて

◎請願者

全日本年金者組合三重県本部
伊賀名張支部
支部長 和田 四十八

◎紹介議員

森永 勝二

◎不採択に

賛成24人
反対3人

討論

不採択に賛成

・社会保障をより充実させ、安定的な財源を確保するためには、消費税を含む税制の抜本改革が必要。
不採択に賛成し、請願に反対。
(渡久山)

不採択に反対

・消費税を社会保障の財源にすれば、社会保障のために際限なく消費税

が上がることになる。社会保障の給付削減と負担増を打ち出し、国の責任の縮小化をねらっている。不採択に反対し、請願に賛成。
(百上)

●教育民生常任委員会で教育関係の4つの請願を審査、本会議でいずれも採択となりました。

◎請願者

伊賀市PTA連合会
会長 三木 和恵 他2名

◎紹介議員

田山宏弥 岩田佐俊
坂井 悟 中岡久徳
森岡昭二

採 択

義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求めることについて

◎採択に

賛成 24人
反対 3人

討論 反対

・請願は、制度の全額を国負担とするもので、国から地方への改革を後退させるものであるため反対。
(渡久山)

採 択

「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求めることについて

◎採択に

全員賛成

採 択

保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて

◎採択に

全員賛成

採 択

義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求めることについて

◎採択に

全員賛成

意見書

●学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書

◎採決

全員賛成 (欠席1人)

●自治体クラウドの推進を求める意見書

◎採決

賛成24人
反対2人 (欠席1人)

討論 反対

以上の意見書をそれぞれ国の関係機関に送付しました。

・個人情報の流失の危険性があること、企業が全国の自治体の情報を管理することになるなど問題がある。また将来行政の広域化に向けての足がかりになるもので反対
(森永)

●電力多消費型経済からの転換を求める意見書

◎採決

全員賛成 (欠席1人)

●脱原発社会に向けエネルギー政策の転換を求める意見書

◎採決

賛成13人
反対13人 (欠席1人)

可否同数のため議長裁決により可決
●義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める意見書

◎採決

賛成23人
反対3人 (欠席1人)

●「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書

◎採決

全員賛成 (欠席1人)

●保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

◎採決

全員賛成 (欠席1人)

●防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書

◎採決

全員賛成 (欠席1人)

主な議案と 審議結果

決算の認定

▼平成22年度伊賀市国民健康保険事業特別会計決算の認定

賛成多数で可決

討論 反対

・国保加入者は年金生活者など低所得者が増えている。年収の10%以上を占める高い国保税は基金を使って引き下げるべき。(百上)

▼平成22年度介護保険事業特別会計決算の認定

賛成多数で可決

討論 反対

・介護保険料を払っていても利用料が高くサービスが使えない。在宅介護に必要なサービスがないなど問題がある。安心できる介護事業を強く求めて反対。(百上)



▼平成22年度後期高齢者医療特別会計決算の認定

賛成多数で可決

討論 反対

・75歳以上の高齢者を別の保険に入れて、高負担を押し付けている。医療差別と

条例の制定・改正

いわれるこの制度は廃止すべき。(百上)

▼伊賀市資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例の制定

菜種等から食用油を製造する「菜の舎」と廃食油からバイオディーゼル燃料を製造する「バイオ燃料センター」の2施設が、試験的な運営から、本格的な運営になったため、利用料等も含めた条例を制定します。
全員賛成で可決



▼伊賀市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正

上野西小学校区にある放課後児童クラブ「レインボーうえの」は、老朽化が著しく、児童の安全の確保が困難になってきていることから、伊賀市社会事業協会が待機児童解消のため一時的に設置した「オーロラ」と「レインボーうえの」を統合し、平成24年度より定員70名の「放課後児童クラブふたば」を元ふたば幼稚園跡地に設置するもので、条例でクラブの名称と位置を改めます。
全員賛成で可決

▼伊賀市農業経営基盤強化促進協議会条例の一部改正

条例で規定している委員選出団体のうち「農林漁業金融公庫」が「株式会社日本政策金融公庫」

に統合されたため、委員選出団体の名称を一部改めます。
全員賛成で可決

契約

▼工事請負契約の締結

神戸地区の汚水処理施設建設工事に伴う機械・電気設備工事は、入札を行った結果、藤吉工業株式会社が一億5015万円で落札したので、契約の締結について議会の議決を求められたものです。
全員賛成で可決

人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦(2件)

人権擁護委員の任期満了に伴い、後任委員候補者として現委員を引き続き推薦するため、議会の意見を求められたものです。

・塚本五十鈴氏
・森下 政實氏
全員賛成で同意

その他の議案

▼市道路線の変更

三重県が実施する(通称)蓮池バイパスの整備に伴い、バイパス工事完了後の旧県道敷地について、伊賀市が移管を受ける必要があるため、事業区間の起点を変更し、市道認定区間の延長を行います。

〔市道下川原西山線〕

市道の一部が伊賀広域農道の敷地に含まれることになり、三重県が機能回復による付替工事を行ったので、市道の起点の位置を変更し、管理を行います。

全員賛成で可決

各議員の賛否一覧

○印は賛成、×印は反対、欠は欠席 なお、安本美栄子議長は採決に入っていません。

件名	議決結果	賛成 対 反	生中 正嗣	稲森 稔尚	上田 宗久	近森 正利	中井 洗一	中谷 一彦	中盛 汀	西澤 民郎	百上 真奈	田山 宏弥	本城 善昭	森 正敏	北出 忠良	空森 栄幸	渡久山 力ナ工	前田 孝也	松村 頼清	今井 由輝	奥 邦雄	中本 徳子	岩田 佐俊	坂井 悟	桃井 隆子	中岡 久徳	馬場 登代光	森岡 昭二	森永 勝二	
																														成
平成22年度 市長提出議案	工事請負契約の変更	原案否決	9:18	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×		
	一般会計決算の認定	認定	22:5	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	
	国民健康保険事業特別会計決算の認定	認定	25:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	介護保険事業特別会計決算の認定	認定	25:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	25:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	住宅新築資金等貸付特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	駐車場事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	老人保健特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	農業集落排水事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公共下水道事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	浄化槽事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サービスエリア特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市街地再開発事業特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	島ヶ原財産区特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大山田財産区特別会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病院事業会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計決算の認定	認定	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成23年度 報告	一般会計補正予算(第3号)	原案可決	23:4	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例の制定	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	農業経営基盤強化促進協議会条例の一部改正	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市道路線の変更	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	工事請負契約の締結	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員定数議案	人権擁護委員候補者の推薦	原案同意	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度健全化判断比率等の報告	了承	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	継続費の精算報告	了承	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革案」に反対し、社会保障の充実・改善を求めること	不採択	3:24	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求めること	採択	24:3	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求めること	採択	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めること	採択	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求めること	採択	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書(案)の提出	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	電力多消費型経済からの転換を求める意見書(案)の提出	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書(案)の提出	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書(案)の提出	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書(案)の提出	原案可決	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める意見書(案)の提出	原案可決	23:3	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
自治体クラウドの推進を求める意見書(案)の提出	原案可決	24:2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
可否同数のため、議長裁決により可決																														
脱原発社会に向けエネルギー政策の転換を求める意見書(案)の提出	原案可決	13:13	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○		

ここが聞きたい ～ 市政を問う～

一般質問

一般質問は、9月9日から14日まで、13人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

一般質問

今井 由輝 議員

質問項目

- 中心市街地の活性化について
- 行政バス等市民の為の交通政策について
- 伊賀市の給食について

問

市民のための交通政策が進んでいないのでは



議会では、平成18年4月に交通対策特別委員会を設置し、市内全域を調査研究し、市民の声も聞いて、一定の方向を出し、委員長報告までしましたが、いまだに進んでいません。計画ばかりでなく誰もが利用でき、上野中心市街地までつなぐ交通ネットワークを1日も早く実行してください。

答

交通計画に基づき進めていきます

今年4月に交通計画を策定し取り組んでいます。現在支所管内を巡回しているバスで支所間をつなぐことや、「コミュニティーバスの北ルート、デマンド運行に向け検討し取り組みに努めます。



一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- 知事とのトップ会議「地域会議」について
- 新芭蕉翁記念館の整備について
- 農業集落排水施設の維持管理について
- 校区再編のこれからについて

問

「新芭蕉翁記念館」の建設はいつからですか



市長が平成21年5月に示された「グランドデザイン」では、平成26年度中に旧桃青中跡地に予定されています。中心市街地活性化基本計画の経済効果にも大きな影響があると考えられますが、今も変わりありませんか。また、通称「赤い橋」も描かれています。その橋を架けないと公園との連携がなくなります。具体的に、どの所管でいつまでに、どのように計画を進めていくおつもりですか。

答

当初の予定で進めていきます

予定より遅れていますが、平成26年度中に完成させる方針に変わりはありません。現在、「赤い橋」については、産業建設部でなるべく史跡に影響を与えない5つの工法などを検討中です。検討結果を県と協議したのち、文化審議会を経て、文化庁の許可が下りれば、旧桃青中の解体に着手する予定でいます。

市政を問う

一般質問

中盛 汀議員

質問項目

- 学校配信メールを全校へ
- ホームページを有効に

問

学校配信メールを全校実施へ

台風12号時、学校配信メールで下校時間の連絡をもらい、スムーズに迎えに行けた学校と、学校に各保護者が問い合わせ、電話が混み合い、やっと予定を聞いてお迎えの対応ができた学校があり、保護者から配信メールを求める声をたくさん聞きました。



学校行事やお知らせ等、活用法も多様なこのシステムの利用状況と今後をお尋ねします。

答

実施目指して後押しします

東北の震災後、配信メールのより重要性を感じ、現在は9校が実施、5校が検討中です。

システムには有料と無料があり、各校で適したシステムを導入し、有料の場合は費用負担をPTA会費や個人（約30円前後）負担でまかなっており活用しています。

校長会を通じ、実施への情報提供もしました。教育委員会としては、全校実施まで支援します。

一般質問

中谷 一彦議員

質問項目

- 伊賀市における多重債務者の生活再建の取り組み
- 事務決裁権限と責任について
- 公共資産関連データと公会計整備

問

市民生活相談室の充実を！

伊賀市には消費生活相談窓口がありますが、市民税、国民健康保険税等税金の滞納の他に住宅ローンやカードローン等を含めた多重債務者に対する相談はどのようになっているか教えてください。



答

市民生活課が担当しています

他の部署と連携を密にし、無料法律相談等、先進事例の野洲市の市民生活相談室も参考にし、情報の共有化、請求の一元化等とともに、ピンポイントの案内に努め、相談者が安心して行政サービスを受けて生活再建に取り組めるよう支援します。



一般質問

稲森 稔尚議員

質問項目

- 市民との情報共有・情報公開の推進について
- 伊賀市総合計画後期基本計画の修正議決後の対応について
- 観光分野・障がい者雇用における「ユニバーサルデザイン」について
- 自殺予防対策の強化について

問

伊賀森林組合の情報公開・透明化に向け強く指導せよ！

「伊賀市行財政改革大綱後期実施計画」の重点項目の中に「出資団体の情報公開」が掲げられており、平成21年度実績一覧の中には、「100%達成できた」とありますが、これは事実と異なるのではないですか。



伊賀市は伊賀森林組合に約29%（約1800万円）の出資をしていることから、より一層市民・納税者の立場に立って、森林組合の情報公開、透明化が進むよう、強い姿勢で指導すべきです。

答

「100%達成」は誤りでした、今後は適切に指導・監督します

伊賀市が出資する7法人のうち、伊賀森林組合だけが情報公開規定が未整備であることが、今年9月になって判明しました。また、市書類の提出も求めていませんでした。

すみやかに、情報公開規定を整備・運用させるよう指導するとともに、今後は監査体制も含めて、出資団体に対し適切に指導・監督する役割を果たしていきます。

市政を問う

一般質問

本城 善昭 議員

質問項目

- 伊賀市の食と農業を再生するには
- スポーツの振興について
- 都市計画区域の統合は

問

女子サッカーチーム「伊賀フットボールクラブくノ一」に対する支援は？



ワールドカップでの「なでしこジャパン」の優勝、引き続きオリンピックの出場と女子サッカーへの人気も急上昇です。

市民球団である「伊賀FCくノ一」に対する支援策について、市長は今議会の所信表明で述べられています。どのような支援かお聞きします。

答

十分な支援を考えます

ワールドカップでの優勝は嬉しいニュースでした。三重県知事も県内のチームとして支援を考えておられるので、市としても本市に本拠地を置く「伊賀FCくノ一」の今後の活躍を期待し、十分な支援を考えます。



一般質問

中本 徳子 議員

質問項目

- 市庁舎建設について
- 市民病院の現状と再生について
- 森林施策について
- 道路整備について

問

庁舎建設の市民説明は十分だったか



行政は庁舎建設について平成22年7月に市長説明を行って以来、市民や議会に一定の行動があったが、その後の議論もなく、市民の不信感が涌いています。これで説明は終了したのですか。

答

市民の理解は得ている

平成20年から市の大きな施策として、市民の皆様を示し、議論も十分に地域に向かい説明もしました。昨年、総合計画も策定し、市民の皆様が現在の場所での機能は十分だと説明も終えており、理解は得ていると思っています。今後新しい庁舎の説明は皆さんに満足が得られるよう努めていきます。また特例債の期限内に建設をしていくよう努力していきます。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- 介護保険法改正と伊賀市の介護
- 上野総合市民病院の内科医確保を早急に
- 住民自治をすすめるための行政の役割

問

現場の声を施策に生かした介護サービスを



来年4月に施行される改正介護保険法は医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアの実現をめざすとしています。しかし介護保険からはずれた人はボランティアによる家事生活援助になり、医療行為を介護職員がするなど安上がりの介護になる懸念があります。高齢者の一人暮らしや在宅介護を望む人が増えている伊賀市では、24時間対応の訪問介護・訪問看護サービスはなく、ショートステイ不足や介護職員の人材不足も深刻です。市は現場の声を充分施策に反映してください。

答

介護と医療の連携にむけ訪問看護の充実をはかります

安心して介護を受けられることが大切だと考えています。第5期介護保険事業計画は地域包括ケアが実現できることをめざし、伊賀市の実情に合った介護サービスを構築します。特に訪問看護サービスは喫緊の課題として取り組みます。

市政を問う

一般質問

森岡 昭二議員

質問項目

- 行財政改革について
- 地域医療について
- 観光行政について
- 下水道整備事業について

問

病院経営の改善を



現在の市民病院の状況は、281床のうち稼働しているのは110床で、1日当たりの入院数が71人で外来数も年々減少し、病院経営が悪化している中で職員数（174名）だけがそのままの状態にあるのはなぜですか。

答

1日も早く正常な状態に戻す努力をします

入院外来とも急激に落ち込んでいる状況の中で、事務職員はじめ他の職員数については横ばい状況にあるのは、病院経営が1日も早く正常な状態に戻った時の職員の確保のため、今の状態にあります。



一般質問

馬場 登代光議員

質問項目

- まちづくりについて

問

夢（計画）と現実のきびしさを感じておられますか



私はいつもコンクリートの建物を建てるだけで町がにぎわうという甘い世の中ではないと申してきました。市の総合計画がありますが、世の中の変化は激しく、そう簡単に理想のまちづくりはできないと思われるかもしれませんが、予想外の災害、円高も急速に進んでいるからであります。中心市街地活性化基本計画は駅前再開発を中心に50以上の事業があり、その中に松生家活用事業がありますが、これは戦略的中心市街地商業活性化支援事業で食の店としてオープンしましたが、今この店が閉まっているようです。また経営者が変わるようで大改造しています。一体どうなっているのですかお伺いします。

答

新たな事業者が継承することになりました

※9月19日に飲食店がオープンしました。

一般質問

森永 勝二議員

質問項目

- 庁舎問題に思うこと
- 払える国民健康保険税に
- 同和事業・同和教育をやめ公平・公正な市政を

問

払える国保税にすべき！



市長の保険料は報酬の4・56%です。所得300万円です。夫婦子供2人の国保税は31万4400円です。所得に対して10・5%を占め、本当に高い国保税のため市民は困っています。

答

上げないように努力します

現在、国保基金が約11億7000万円です。2億4000万円で一人1万円下げられますが、いかがですか。

伊賀市の国保税、決して安くはないと思っています。三重県の市町の中でも15番目ということも承知しています。加入者は小規模な個人経営者であるとか、農業など所得の低い方が加入されている制度です。国保税については国保運営協議会でも議論いただきましたが、できるだけ国保税を上げない方向で、引き続き努力をしたいと思えます。伊賀市のような人口規模では、この程度の基金は国保財政の安定的な財政運営のため必要です。

市政を問う

一般質問

森 正敏 議員

質問項目

- 防災行政について
- 上野総合市民病院の再生について

問

がん免疫栄養療法のテレビ放映の反響は



上野総合市民病院で行われているがんの最新医療「免疫栄養療法」がNHK教育テレビ「健康を支える最新医療」の中で紹介され注目を浴びて

います。この療法ですっかり元気になり、仕事に復帰された市内の女性患者のいきいきした姿が放映され、多くの問い合わせがあると聞きます。経営状態が厳しい病院ですが、がんという難病治療にこの最新療法を取り入れた市民病院の今後に期待できますが、このテレビ放映の反響はどうですか。

答

遠方からも問い合わせが

現在、「がんサポート・免疫療法センター」で薬剤師、管理栄養士がチームをつくり、患者のサポートを行っています。NHKで放映されて以来患者が増え続け、現在伊賀・名張両市で35名、県内6名、県外2名、計43名が免疫栄養サポートを受けています。遠方からの問い合わせも多くあります。

一般質問

松村 頼清 議員

質問項目

- 上野南中学校の進捗状況
- 合併の効果について

問

警報発令が予想される前日の学校休校扱いは



災害時の対応について、全国各地での避難勧告、避難指示の出すタイミングが遅れたことにより、多くの方が犠牲になられたとも言われています。

学校については、原則暴風警報が出されないと休校にはならないようですが、明日台風が来ると予想される場合、学校長、教育委員会、危機管理を含めた前日からの早めの判断を望みますが、いかがですか。

答

統一的な判断は難しい

教育委員会としては、前日に学校を休校と言えないことはないが、伊賀市全域として統一的な判断は難しいと考えます。やはり暴風警報が出ていなければ登校となっています。

今は学校長が判断できるように普段の指導をしているので、最終的には学校長の判断であり、その場その場の対応をしなければならぬ場合もありますが、マニュアルどおり、暴風警報が出されたら、休校になるということが大原則です。

広報委員会の視察 京都府京丹後市へ

6月29日に、議会広報の視察研修を実施しました。

京丹後市は、「市議会広報発行に関する条例」を制定し、議員24名中7名が広報委員に任命されています。

特に編集で大切にしていることは、

- 議員視点の記事であること
- 見出しの工夫
- 写真の配置を考える
- 専門用語をわかりやすい表現にする

等 記事への注目性と読みやすさ、見やすさを考え、市民の皆様によりわかりやすい広報作りに、議会一丸となって熱意を注がれています。



当市においても、昨年
から「より読みやす
く」、「よりわかりやす
く」をモットーに、横書
きを縦書きに、また見出
しにも工夫をしましたた
が、今後さらに議会だよ
りが、「情報公開」・
「情報共有」の最善の手
段になるべく、紙面作り
に取り組みます。

議会改革推進委員会 検討結果を議長に報告

議会改革推進委員会の今井由輝委員長は、9月5日、議長に議員定数と報酬について、委員会の検討結果を報告しました。



▼議員定数4人削減

人口、面積、財政力等をもとに類似市と比較検討したうえで、現行の28人から24人に削減し、議員報酬は現行どおりとする案を議長に報告しました。

その過程において、委員からは、「行財政改革の視点から削減は必要である。」「人口や財政状

況等を踏まえると削減すべきである。」「余りにも急激な定数削減は、地域の声が届かなくなる。」「定数削減は必要であるが、議員報酬と一体的に考える必要があります。」などの意見がありました。

▼報酬は現状維持

また議員報酬については、委員からは、「大幅な議員定数の削減を行わない限りは、報酬の増額は難しい。」「議員報酬増額そのものが、市民コセンサスを得ることが難しい。」などの意見が出されました。

▼引き続き議論

議長はこれを受け、条例に基づいて市民に意見を伺い、議員全員懇談会で改めて協議するとしました。

議員間討議!! 「政策討論会」開催

伊賀市議会の政策討論会は今回が10回目、必要に応じて、政策的な条例提案・改正などを行うことも視野に入れ、議会として問題意識を共有することをめざしています。

7月26日、議会基本条例に基づき、「政策討論会」を開き、2つのテーマについて、活発な議論を行いました。



「食と農の まちづくり条例(案)」

提案議員からは「遺伝子組み換え食品、放射能汚染、残留農薬などの不安をなくし食品の安全性を守り、伊賀地域の産業振興と子どもの食育のために地産地消を推進する必要がある」として条例案のたたき台を説明、他の議員からは賛同する意見のほか「市当局との打ち合わせも必要ではないか」「財源の確保をどのようにするのか」などの意見も出され、引き続き議論を継続することが確認されました。

「消防広域化」

伊賀市と名張市をひとつのブロックにする「消防広域化」計画があります。「伊賀市にとってメリットが少なく、消防力が低下する恐れがある」との提案に対し、他の議員からは「伊賀市・名張市の広域議会においても、伊賀市民の生命・財産を守るために慎重な立場での議論を行わなければならない」などの意見がありました。

議会報告会にお越しください

議会基本条例により、市民の皆さんと議員が自由に情報や意見を交換する議会報告会を実施しています。

1月は下記の日程で予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



議会報告会日程(1月分)

議員名(◎班長)	地区名	開催日	時間	場所
◎本城、中井、松村、桃井	河合	1月13日(金)	15:00	あやま文化センター
◎森永、近森、田山、前田、坂井	上野西部	1月17日(火)	14:00	上野西部地区市民センター
◎森永、近森、田山、前田、坂井	花垣	1月19日(木)	19:00	花垣地区市民センター
◎本城、中井、松村、桃井	三田	1月20日(金)	18:00	三田地区市民センター
◎上田、百上、渡久山、岩田、森岡	島ヶ原	1月25日(水)	19:00	島ヶ原会館
◎森、中谷、今井、安本	桐ヶ丘	1月29日(日)	13:00	桐ヶ丘多目的集会所アミティ

※出席議員に変更がある場合がありますので、ご了承ください。

平成23年12月定例会日程(予定)

12月

※本会議の予定は、変更になる場合があります。



1日(木)	本会議(開会、上程、付託)
7日(水)	本会議(一般質問)
8日(木)	本会議(一般質問)
9日(金)	本会議(一般質問)
12日(月)	本会議(一般質問)
13日(火)	予算常任委員会
14日(水)	常任委員会
15日(木)	常任委員会
16日(金)	常任委員会(予備日)
21日(水)	本会議(委員長報告、採決、閉会)

議会を傍聴してみませんか!!

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るた

めにも、ぜひ、傍聴にお越しください。

●聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)

●議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

FAX 0595-24-7901

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp